

平成22年度第2回兵庫県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成22年9月10日(金) 兵庫県庁 1号館9階会議室		
委員	根岸 哲 (甲南大学法科大学院教授) 西村 多嘉子 (大阪商業大学総合経営学部教授) 木村 治子 (弁護士) 北野 参則 (公認会計士) 小西 庸夫 (元兵庫県代表監査委員) 欠席委員：なし		
対象期間	平成22年4月1日 ~ 平成22年6月30日		
事務局報告 平成22年度第1回委員会の議事概要			
議案1 入札及び契約手続の運用状況等の報告			
対象工事 件数	203 件	対象期間中の指名停止件数	7 件
対象工事の契約金額合計	11,385,551 千円	対象期間中の資格制限件数	2 件
対象工事の平均落札率	86.9 %	対象期間中に契約締結した契約予定金額250万円超の工事	
議案2 抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議			
抽出案件 総数 7 件			
うち	一般競争入札	- 件	
	公募型一般競争入札	2 件	
	制限付き一般競争入札	4 件	
	指名競争入札	1 件	
	随意契約	- 件	
委員からの質問・意見 それに対する回答等	質問・意見	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

別 紙

	質 問	回 答
1	<p>事務局報告 平成 22 年度第 1 回委員会の議事概要について (質問・意見なし)</p>	
2	<p>入札及び契約手続の運用状況等の報告 H22.4.1～6.30の入札・契約状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 贈賄の容疑で社長・元役員が逮捕されたため指名停止となったものについて、指名停止の期間を過ぎれば、通常どおり対応するのか。 また、総合評価落札方式の評価項目には導入していないのか。</li> <li>・ 平成 21 年度の契約金額(契約予定金額 250 万円超に限る)の合計約 1,111 億円のうち約 2 割が但馬県民局で非常に高いのはなぜか。</li> <li>・ 警察本部は、落札率 95%以上の工事の割合が高い。改善の努力をすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指名停止を受けても、指名停止の期間を経過した後は、入札参加に関して特に不利益はない。 6 か月以上の指名停止を受けた場合は、総合評価落札方式で地域貢献評価の減点項目としている。</li> <li>・ 但馬地域は広域のため 3 土木事務所で所管しており、鳥取豊岡宮津道路等幹線道路工事、平成 16 年度からの災害復旧工事等、事業量は多い。</li> <li>・ 現在も、競争性の向上を図るために指名競争入札を制限付き一般競争入札に変更する等の工夫をしている。特殊な工事が多く一定の価格にはりつきやすいが、今後とも落札率が下がるような努力が必要と考えている。</li> </ul>
3	<p>抽出した工事に係る入札及び契約手続き等の審議</p> <p>(1) 制限付き一般競争入札：神戸県民局(神戸土木事務所)発注 「福田川水系 福田川河床掘削工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辞退者が半数の 6 者と多く、また落札金額と入札の最高額との差が大きいのはなぜか。</li> </ul> <p>(2) 公募型一般競争入札：西播磨県民局(光都土木事務所)発注 「千種川水系 千種川隈見橋上部工製作・架設工」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合評価落札方式の評価項目「企業の施工実績」について、施工実績のある業者にかなり有利となっている。現行の対象期間 2 年を 3 年に広げる等の見直しを検討すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該工事は、揚土を処分地まで運搬する際、特殊な空気圧送船の確保が必須なうえ、ノリ養殖までの限られた工期等の条件が重なり、コスト計算が難しかったため、辞退者が多くなったと推測される。</li> <li>・ 工事件数が減少していくに伴い、現行の対象期間内で企業が工事成績を取得できる機会が減少すると予測されること、また、完成から長い期間を経過している工事の成績で現在の企業の技術力を評価することが適切なのか等も考慮して、対象期間の設定を検討していく。</li> </ul>

<p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p> <p>(6)</p> <p>(7)</p>	<p>公募型一般競争入札：但馬県民局(豊岡土木事務所)発注 「円山川水系 六方川 六方川排水機場改築(機械設備)工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かなり高度な技術が必要な工事のように見受けられる。施工可能な業者が少ないため応札者も少ないのか。</li> </ul> <p>制限付き一般競争入札：但馬県民局(新温泉土木事務所)発注</p> <p>「(二)岸田川水系 岸田川 河川障害物除却工事(その1)」</p> <p>「(二)岸田川水系 岸田川 河川障害物除却工事(その2)」</p> <p>「(二)岸田川水系 岸田川 河川障害物除却工事(その3)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この3件の入札期間は同じで、入札参加見込対象者数33者のうち参加企業は20者程度でほとんどが同じ業者である。なぜこのように偏るのか。</li> <li>・ 同じ工事の場合は、2件同時に落札しないように入札参加制限はしないのか。</li> </ul> <p>指名競争入札：警察本部(会計課)発注 「第14次但馬地区道路標示更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県警本部の発注は、落札率が高い。もう少し工夫が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのように考えている。入札参加見込対象者数が少なかった。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札に参加した業者は、運搬用に必要な大型トラックを所有しており、小さい重機等しか所有していない業者の入札参加がなかったと推測される。</li> <li>・ 工区が隣接している場合や、構造物がつながっているような場合は入札参加制限するが、今回はそのような要件に該当していないため、制限しなかった。</li> <li>・ 区画線・道路標示工事においては、指名競争入札により発注していたが、1,000万円以上の工事にあっては入札の競争性の向上を図るため土木工事に準じて制限付き一般競争入札により発注している。</li> </ul>
<p>その他：政府調達に関する苦情処理、建設工事に係る再苦情処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回は、無かった旨、事務局より報告。</li> </ul>		